

「2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた多摩市の取組方針」の概要

I 方針策定の目的

- オリンピック・パラリンピックの開催は、国や世代、文化を超えた交流を通じて、日本を夢と希望に溢れた社会にするまたとない機会
- 本市においても、次代を担う子どもたちをはじめ、多くの市民がその喜びと感動を一生の宝物として心に刻むことができるよう、また、大会を契機とした健康づくり、まちづくりが将来にわたる多摩市の発展の原動力となるよう取り組むことが重要
- 大会に市民一人ひとりが関わり、楽しみ、心に刻み、将来につなげる価値ある「レガシー」を創出することができるよう、本市の取組方針を明らかにすることを目的として策定

III 取組の期間

- 本方針は、東京 2020 大会に向けた取組を示すもの
- 2020 年は通過点であり、その更なる先を見据えて、レガシーを活かしたまちづくりの推進

IV レガシー創出に向けた取組方針

【テーマ1】スポーツ・健康 ～誰もが身近にスポーツを楽しむまち、健幸都市～

- 事前キャンプの誘致に向けた市内の大学等との連携強化
- 市民が身近にスポーツを楽しむ環境の整備
- 市民全員でオリンピック・パラリンピック選手を応援する気運の醸成
- 市民の誰もがスポーツに取り組む気運の醸成
- 東京 2020 大会を契機とした「健幸まちづくり」の取組の推進

【テーマ2】教育・文化 ～多様な文化が育まれ、様々な芸術活動が盛んなまち～

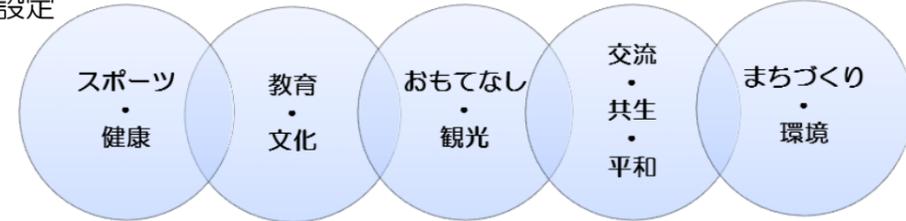
- オリンピック・パラリンピックを体感する教育プログラムの推進
- 地域資源を活かした文化プログラムの展開

II 取組の基本的方向

- 東京 2020 大会をバネに、本市の取組展開を加速し、「暮らすまち」としての魅力に加え、「訪れるまち」としての魅力を倍増させ、これを発信していく

夢と希望にあふれたオリンピック・パラリンピックで未来を創造
～「行きたい・見たい・住みたいまち 多摩市」を創ろう～

- 5つのテーマを設定



【テーマ3】おもてなし・観光 ～訪れてみたいまち、住みたいまち～

- おもてなしの環境整備
- まち全体でオリンピック・パラリンピックを楽しむ雰囲気づくり
- 市内企業等と連携した多摩市の魅力発信

【テーマ4】交流・共生・平和 ～互いを理解し支え合う、交流の豊かなまち～

- 交流と共生の推進
- 海外からの来訪者を受け入れる環境の整備
- 人権・平和の普及啓発

【テーマ5】まちづくり・環境 ～環境に配慮した、活気ある持続可能なまち～

- 若者や子育て世代を惹きつけ、多世代が安心して住み続けられるまちづくり
- 環境に配慮した持続可能な都市空間の形成

V 取組の推進にあたって

■幅広い連携・協力

- より多くの人々が参加し、ともに大会に向けて気運を高めていくことが重要であることから、庁内のみならず、市民や企業、団体、大学等と幅広く連携・協力しながら展開

■推進体制（予定）

- 2016 年度当初を目途に担当の設置を、その後、準備の推進の母体となる専管組織の設置を検討
- 2016 年夏を目途に、市長を本部長とする「(仮称)東京 2020 大会多摩市プロジェクト推進本部」を設置、取組を本格化

